

1週間分の買い物を見つめなおし、
ごみを減らすための買い物の工夫や
リサイクル工程について学ぶ。

学習の流れ

STEP1

買い物調べ

1週間に家で買い物してきたものを調べ、どんなものを買ったか、それがどんな構成か、それぞれの役割と使い終わった後のゆくえについて整理する。

ワークシート①

STEP2

容器ごみのゆくえを追う

特に容器包装材に注目し、自分たちが出しているごみがどのように分別・リサイクルされ、焼却、埋め立てされているかを追う。また、経年変化や今後のごみ処理の計画なども調べる。

*ごみ処理センターやリサイクルセンターの見学などとあわせる。

STEP3

「ごみにかかるエネルギー」

どんなところでどれくらいのエネルギーと費用がかけられているかを調べ、ごみ処理にかかるエネルギーについて知る。地球温暖化にごみも大きく関わっていることに気づく。

STEP4

「ごみを出さない買い物の工夫」

マイバックを持ってレジ袋をもらわない、過剰包装は断る、詰め替え用や量り売りなど、買い物でできるごみを減らす工夫について考え、何も配慮をしないとごみの発生量を比較する。

発展

「ペットボトルのリサイクルを追う」

回収から再生、製品化が実現しているペットボトルを取り上げ、実際にどのような経過でリサイクルされ、社会で再利用されているかを調査する。またリサイクルする過程で、社会のどんなところにつながっているか広がりを見つける。

「マイバックのまちづくり」

無地の布製バックに絵を描いたり、プリントをするなど、オリジナルな携帯用マイバックづくりを行う。地域の商店街やスーパーなどの協力を得て、地域全体でマイバックの普及を呼びかける。

児童・生徒の思考過程

学習への関心・意欲

自分たちは、たくさんものを使って生活をしている。
日常的に家でどんなものを買っているか、考えてみる。

知識・理解

日常的に買っているものを詳しく見ると、容器や包装材が多く含まれていることを知り、それらが家庭ごみのかなりの量を占めていることを認識する。

思考

ごみの処理には、輸送時、焼却や埋め立て時などで多くのエネルギーがかかっている。
ごみの減量によってエネルギーの消費を抑えるために、どのようなごみ減量の工夫ができるか考える。

評価・判断

自分たちが買う商品が、ごみを少なくする工夫や環境への配慮がなされているか見極められるようにする。

日常生活での実行

買い物時から環境に配慮した商品を選んだり、リサイクル活動への実践を通じて、実際のごみの減量に結びつける。